

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-33 救急医療対策事業				タイムスコード及び個別事業名			
	■支援部門	市民健康課		関連課	0094	休日夜間急患診療所業務		
主管課	市民健康課		関連課	1223	在宅当番医制事業			
分野名	健康福祉				1224	二次救急確保対策事業		
目標 (目標値)	市民等の休日・夜間の急病への迅速な対応を図る。				1278	休日急患歯科診療所事業		
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)	1226	外国籍市民救急医療対策事業		
	人口	176,669人	176,484人		1349	救急医療情報提供事業		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	173,121千円	173,535千円		指標と評価			
	(国・県)	3,584千円	4,992千円		指標	休日夜間急患診療所における小児科専門医等の配置の割合を 100%		
	(負担金等)	0千円	0千円			評価	△	
	(一般財源)	169,537千円	168,543千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人員配置数	1.2人	1.2人		目標値		実績値	
	人件費	11,131千円	11,238千円		20年度		100%	44%
	協働の パートナー	医師会・医療機関	医師会・医療機関		21年度		100%	43%
事務事業 運営経費	総事業費	184,252千円	184,773千円		22年度	100%		
	市民1人当 りの経費	1,043円	1,047円		23年度			
	対象者1人 当りの経費	-	-		最終年度 (年度)			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名							
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 休日夜間急患診療所で休日及び平日夜間の診療において、更なる小児への対応ができるよう、小児 専門医、小児科を標榜する医師の配置を進める。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 平成20年度に小児科専門医、小児科を標榜する医師の配置を促進するために、小児救急医療対策 加算金を支給し急増する小児急患に対応したが、配置の割合は43%であった。更に、休日夜間急患 診療所において、小児への対応ができる小児専門医、小児科を標榜する医師の配置を増やすため、 医師会と協議を継続した。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 休日夜間急患診療所における小児救急医療体制及び内科の更なる充実を図る必要がある。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 休日夜間急患診療所における小児救急医療体制及び内科の更なる充実を図るため、引き続き医師 会と協議する。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性			
A	有	休日夜間急患診療所における小児救急医療体制の充実を図るため、今後も引き続き市医師会と協議する。		A	有	初期救急体制の市民ニーズに対応した改善のため、今後も引き続き関係機関と協議する。		
課長名		市民健康課長 相川 誉夫		部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子		